

「第 2 次広島市男女共同参画基本計画」の指標及び数値目標等の変更について

1 指標及び数値目標等の変更の考え方

(1) 本市の計画等の改定に伴う変更

第 2 次基本計画の具体的取組の基礎となっている本市の計画等の改定に伴い、指標や目標数値等を変更する。

【本市の計画等の改定】

・第 2 次広島市安全なまちづくりの推進に関する基本計画 など

(2) 国の計画の策定に伴う変更

国の第 4 次男女共同参画基本計画の策定に伴い、指標や目標数値等を変更する。

(3) 適切な指標への変更等

施策目標と指標の内容が一致していないなど、指標として適切でないものについては、変更または廃止するとともに、新たな課題等に対応する指標を新設する。

2 指標（基本目標 8）

(1) 市内で発生する犯罪を減らす（市内で発生する刑法犯認知件数）

ア 実績等

（単位：件）

策定時 (H21 年)	実績				最終目標数値 (H27 年)
	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年	
13,821	12,535	11,553	10,472	10,349	12,773

イ 今後の方向性

「第 2 次広島市安全なまちづくりの推進に関する基本計画」の改定状況を踏まえ、指標や目標数値の変更を検討する。

(2) 過去 1 年以内に暴力を受けた女性被害者の割合を減らす

ア 実績等

（単位：％）

策定時 (H21 年度)	実績				最終目標数値 (H32 年度)
	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	
4.2	3.4	3.8	2.6	3.7	2.0

イ 今後の方向性

最終目標を達成していないことから、継続して取り組む。

ただし、実績数値において、市民意識調査のアンケートでは、1 人の市民が様々な暴力を受けている場合、複数の暴力被害を回答することになっていたため、アンケート調査結果から、過去 1 年以内に暴力を受けていた女性の実人数を集計し直し、割合を算出した。

(3) DVの相談窓口を知っている人の割合を増やす。

ア 実績等

(単位：％)

策定時 (H21 年度)	実績				最終目標数値 (H27 年度)
	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年	
29.0	51.8	52.7	51.0	51.6	67.0

イ 今後の方向性

最終目標年度が平成 27 年度であり、目標数値も未達成であることから、国の第 4 次男女共同参画基本計画の策定状況を踏まえ、指標や目標数値等の変更を検討する。

(4) DVの被害を受けた後、公的機関に相談した人の割合を増やす。

ア 実績等

(単位：％)

策定時 (H21 年度)	実績				最終目標数値 (H32 年度)
	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	
13.4	15.6	13.8	11.8	6.3	30.0

イ 今後の方向性

実績数値が年々悪化しているが、DV相談は公的機関以外に民間団体、弁護士なども行っており、また、家族や友人などに相談することで、広島市配偶者暴力相談支援センターへの相談に繋がる場合もある。このため、指標を「DV被害を受けた後、だれ（どこ）にも相談しなかった割合を減らす」に変更する。

《参考》

DV被害を受けた後、だれ（どこ）にも相談しなかった割合

(男女共同参画に関するアンケート)

(単位：％)

実績		最終目標数値 (H32 年度)
H21 年度	H26 年度	
53.6	30.2	15.0